積の大きさ

年　組　名前

/16

■ 次のかけ算の積と、かけられる数の大小関係を、不等号を使って表しましょう。

(かけ算の積 ＝ かけられる数 × かける数)

① $50 \times \frac{16}{15}$ □ 50

② $2430 \times \frac{7}{100}$ □ 2430

③ $20 \times \frac{7}{3}$ □ 20

④ $360 \times \frac{13}{9}$ □ 360

⑤ $9700 \times \frac{1}{2}$ □ 9700

⑥ $4000 \times \frac{1}{8}$ □ 4000

⑦ $7010 \times \frac{20}{11}$ □ 7010

⑧ $850 \times \frac{15}{16}$ □ 850

⑨ $3300 \times \frac{8}{3}$ □ 3300

⑩ $74 \times \frac{159}{100}$ □ 74

⑪ $400 \times \frac{47}{46}$ □ 400

⑫ $1820 \times \frac{41}{100}$ □ 1820

⑬ $620 \times \frac{26}{27}$ □ 620

⑭ $5090 \times \frac{1}{3}$ □ 5090

⑮ $8000 \times \frac{137}{100}$ □ 8000

⑯ $13 \times \frac{11}{12}$ □ 13

積の大きさ

年　　組　名前

/16

■ 次のかけ算の積と、かけられる数の大小関係を、不等号を使って表しましょう。

番号	かけ算の積	かけられる数		かける数	不等号	かけられる数
①	約 53	50	×	$\frac{16}{15}$	$>$	50
②	約 170	2430	×	$\frac{7}{100}$	$<$	2430
③	約 46	20	×	$\frac{7}{3}$	$>$	20
④	520	360	×	$\frac{13}{9}$	$>$	360
⑤	4850	9700	×	$\frac{1}{2}$	$<$	9700
⑥	500	4000	×	$\frac{1}{8}$	$<$	4000
⑦	約 12745	7010	×	$\frac{20}{11}$	$>$	7010
⑧	約 796	850	×	$\frac{15}{16}$	$<$	850
⑨	8800	3300	×	$\frac{8}{3}$	$>$	3300
⑩	約 117	74	×	$\frac{159}{100}$	$>$	74
⑪	約 408	400	×	$\frac{47}{46}$	$>$	400
⑫	約 746	1820	×	$\frac{41}{100}$	$<$	1820
⑬	約 597	620	×	$\frac{26}{27}$	$<$	620
⑭	約 1696	5090	×	$\frac{1}{3}$	$<$	5090
⑮	10960	8000	×	$\frac{137}{100}$	$>$	8000
⑯	約 11	13	×	$\frac{11}{12}$	$<$	13